

日田商工会議所 クォーター制委員会 議事録

1. 日時 令和8年2月20日（金） 13:30～14:30

2. 場所 日田商工会館

3. 出席者

（会頭） 瀬戸 亨一郎

（委員長） 梶原 康輝

（担当副会頭） 園田 匠

（副委員長） 加納 信男

（委員） 江藤 秀平、北郷 太門

（専務理事） 樋口 恒成

（事務局） 大石、中島、松尾、黒木

4. 議事経過 1) 委員長挨拶

・梶原委員長より、開会の挨拶がなされた。

2) 議題

○ 第一回委員会の要点整理

・人口減少を踏まえた議員定数（現行 22 名）の適正化について、前回の論点の振り返りおよび女性・若者が参加しやすい環境づくりについての確認があった。

江藤委員より、旧郡部の声が届かなくなる懸念や、議員活動の情報発信不足といった課題が挙げられた。

○ 第二回委員会の協議事項（議員定数削減案に関わる事項）

・市議会の調査特別委員会から定数 2 減（20 名）とする報告書が出されたこと、自治会連合会から 16 名とする陳情書が提出されたことが報告された。

【決定事項】3月の市議会で定数に関する議案が採決される前に、商工会議所として定数削減に関する要望書を提出することが決定された。提出する要望書の具体的な内容および根拠として、以下の構成で意見が一致した。

【要望書の具体的な内容】

現行の 22 人から、15 人への段階的移行プランを提案する。

【提案の根拠】

- 代表密度の適正化：現行では県議（約 16,800 人に 1 人）と市議（約 2,300 人に 1 人）の代表密度差が約 7.3 倍あるが、15 人とする事で約 3,300 人に 1 人（差が約 5 倍）となり、階層間バランスの整合性が向上するため。

- 財政効果：年間約 3,000 万円、10 年で約 3 億円の財政効果が見込めるため。
- 機能維持：定数 15 名でも、5 人×3 委員会の構成で議会機能は十分維持可能であるため。
- 人口減少社会との整合性が図れ、市民に対して明確な数字で説明できる最適化案であるため。

○ 今後の協議事項（女性・若者参加促進等）

- ・女性や若者の立候補を阻む要因（選挙費用等の資金面、仕事や育児との両立の難しさ）についての見解が共有された。解決策として、夜間・休日の議会開催、オンライン（Zoom）参加の許可、商工会議所主催の立候補予定者向け研修会の開催などが提案された。
- ・議員報酬について、活動評価制度の導入や、民間給与・物価に応じた報酬体系とすべきなどの意見が出された。
- ・本件に関する決定事項は今回はなく、次回以降に引き続き協議していくこととされた。

3) 閉会

- ・【今後の対応・宿題事項】3月上旬の常議員会での承認に向け、梶原委員長が定数に関する要望書のたたき台を3月9日頃までに作成し、委員間で意見集約を図ることが確認された。

※2月28日現在までの進捗状況；要望書校正中、3月3日の正副会頭会議、以降、よろず委員会、常議員会で諮る予定となる